

## 第65回横浜労災病院地域医療支援委員会議事録

- 【開催日時】 令和5年3月22日（水） 19:00～20:00
- 【場 所】 横浜労災病院病棟管理棟地下1階 地下大会議室
- 【進 行】 （議事）内藤委員長  
（議事以外）八田地域医療連携室長（医事課長）
- 【出席委員】 内藤委員長 鈴木副委員長 山本（俊）委員 岩田委員 山下委員  
深澤委員 芝山委員 片山委員 山本（智）委員 相沢委員 北川委員  
吉田委員
- 【欠席委員】 柴田委員

### 1 開会

### 2 三上病院長挨拶

### 3 議事

#### （1）入院・外来患者数等実績報告（令和4年度1月累計）

（※病院としては「コロナ前の水準への回復」が当面の目標となっている。  
各種データは令和3年度と比較することにする。）

##### 1 紹介・逆紹介件数

紹介及び逆紹介件数（月平均）は、令和4年度1402.3件/月、1463.8件/月となっており、前年度比で紹介+59.2件/月、逆紹介△12.1件/月という状況であった。徐々に回復してきているが、コロナ前にはまだまだ及んでいない。

##### 2 紹介率・逆紹介率

紹介率及び逆紹介率は、令和4年度91.8%、95.8%となっており、紹介率+0.4%、逆紹介率△4.6%という状況である。昨年度はコロナの関係で逆紹介を推進していたが、今年度は例年並みの割合となってきている。

##### 3 入院患者数・平均在院日数

入院患者数及び平均在院日数は、令和4年度479.9人/10.3日という状況であった。なお、今回のデータには反映していないが、2月は目標としていた入院患者数520人/日を達成しており、今年度より立ち上げたベッドコントロール室の効果が現れたと考えられる。

#### 4 外来患者数（延患者数・実患者数）

外来患者数は、令和4年度1675.3人/日であった。内訳で分析すると、実患者数が+111.2人/日と大幅に増加した反面、他科併診の数が△114.8人/日と大きく減少した。他科併診の減少に関しては、不要な併診を避け紹介状を持参するようご案内しているためである。

#### 5 救命救急センター取扱患者数・救急搬送件数

救命救急センター取扱患者数及び救急搬送数は、令和4年度1961.2人/月、758.2台/月という状況である。ウォークインの患者についても増加してきているが、コロナ前と比較するとまだまだ少ない状況である。今年度は救急車の受入を積極的に行い、前年度比救急搬送件数+174.2台/月、取扱患者数+449.9人/月と大幅に増加した。しかし、不応需率についても37.1%と高い傾向になっている。

#### 6 新入院患者の経路別入院数

新入院患者の経路別入院数は、令和4年度1489.1人/月と前年度比+74.3人/月となっている。これは、外来実患者の増、救命救急センター取扱患者の増ということもあって、外来からが+35.8人/月、救急からが+38.5人/月という結果であった。

#### 7 分娩件数・ハイリスク分娩件数

分娩件数及びハイリスク分娩件数は、令和4年度47.8人/月、9.5人/月と前年度より減少した。前年度比で分娩件数△2.1人/月、ハイリスク分娩件数△1.8人/月と微減という状況であった。

#### 8 分娩にかかる地域別患者構成比

分娩にかかる地域別患者構成比は、病院所在地である横浜市港北区を含む旧横浜市北部医療圏が81.6%とほぼ例年通りの状況であった。しかしながら、その他の地域では、横浜市の北部圏外からが6.6%（前年度比△1.5%）、横浜・川崎を除く神奈川県内からが2.9%（前年度比+1.0%）と構成比に変動があった。また、神奈川県外の分娩件数が増加している。

#### 9 放射線（ノバルス・リニアック・IMRT）治療実績

放射線治療実績については、令和4年度23.9件/月と前年度比△6.8件/月という状況であるが、これは、令和4年2月から7月にかけてリニアック更新に伴う治療可能患者数の制限を行った影響によるものである。

#### 1 0 ガンマナイフ治療実績

ガンマナイフ治療実績については、令和4年度45.2件/月であり、前年度比△4.3件/月という状況であった。

#### 1 1 ダヴィンチ治療実績

ダヴィンチ治療実績については、令和4年度17.9件/月であり、前年度比+3.5件/月という状況であった。増加した要因としては、対象疾患が拡大してきたことが考えられる。

### (2) 新規登録医療機関について

令和4年11月～令和5年1月にかけて新規登録医療機関は12医療機関であり、それぞれ港北区・神奈川区・青葉区・緑区からが2医療機関、鶴見区・都筑区・中区・東京都からが1医療機関という状況となっている。東京都の医療機関については、横浜方面からの患者が多いということで登録の申し込みがあり承認した。

### (3) 登録医制度実績について

令和5年1月末現在の登録医療機関数は772医療機関、医師数1036名となっており、内科が617医療機関、歯科が155医療機関という状況である。北東部6区以外の医療機関が今年度+44機関となっており、医療圏が横浜市一帯となったことと相鉄・東急新横浜線が開通する効果だと考えられる。

共同利用の利用状況は以下のとおりで例年並みの推移であった。

CT	256件(1月累計)	25.6件/月(昨年比+3.1件)
MRI	134件(1月累計)	13.4件/月(昨年比△1.6件)
上部消化管内視鏡		9件(1月累計)

### (4) m3.comへの記事配信について

令和2年9月よりm3.comへ配信しているが、今年度は11診療科が配信している。今後も診療科の協力を得ながら継続することとしている。

### (5) 地域医療介護ネットワークシステム導入に係る準備状況について

システムの連携構築状況について、3月にサーバーの設置しシステムの運用開始は6月からになる見込みである。新規参加機関(令和5年3月15日時点)は、39機関となっている。患者同意取得に向けたプロモーションとしては、4月以降院内掲示及びチラシ・リーフレットの配布並びにデジタルサイネージにより来院者へ周知していく。

(6) 質疑応答・意見交換

(内藤委員長) 逆紹介を推進していることについて、コロナをきっかけに進めていると思うが、今後の働き方改革についても考慮しているのか。

(三上病院長) 働き方改革についても考慮している。逆紹介を推進し、医師が病棟対応や救急対応、手術に注力できるようにと考えている。ただし、一定数は当院で診なければならないのも事実であり、そういった患者についてはしっかりと対応していく。

(岩田委員) 分娩件数について県外が増えているとというのは、里帰り出産が多いのか。

(事務局) その通りです。

(岩田委員) 他科からの不要な院内併診はしないようしているとあったが、併診をするかどうかの判断基準はあるのか。

(事務局) 併診については、紹介された疾患以外での患者の希望による併診はせず、紹介状をお持ちいただくよう案内をしており、紹介された疾患について医師が、併診が必要と判断すればしております。言葉足らずで申し訳ありません。

(山本(俊)委員) 働き方改革に伴い、横浜労災病院の救急は何か影響はあるか。

(三上病院長) 先日、労基署への宿日直表の申請がほぼ認められ、救急についてもこれまで通りの運用をしていく予定である。ただし、小児科についてのみ現在調整中である。また、当院の救急はこれまで通りの運用だが、近隣の2次救急を担当する医療機関の運用がどうなるかによって、今後調整が必要になってくる。

(内藤委員長) 共同利用について、コロナの影響は何かあったか。

(事務局) 特にコロナの影響はないと考えています。

(内藤委員長) 今後、区民や市民に対して、講演会などの医療に関する取り組みはあるか。

(事務局) 市民への啓発活動については、コロナで中止していた市民公開講座をハイブリッド形式で3月2日に開催することができた。来年度以降も続けていきたいと考えている。また、市民向けではないが登録医の会も実施方法は検討中だが、再開させる予定としている。

(柴山委員・片山委員) 登録医への登録方法の案内はもらえるか。

(事務局) ご用意してお渡しします。

(相沢委員) 市民公開講座について、開催の案内をもう少し早めに行ってもらいたい。

(事務局) 次回開催時はもっと早くご案内するようにします。

(相沢委員) M3に載せている記事は病院のホームページに掲載していないのか。

(事務局) 当院ホームページにも掲載しています。

(北川委員) M3について、配信している影響はどういったものがあるのか。

(事務局) 実際に紹介まで繋がっているかは不明だが、記事を配信する度に10名ほどの医師から「今後紹介したい」「引き続き記事を見ます」といったメールが戻

ってくる状況である。

(鈴木委員) サルビアねっについて、広域になってくるとセキュリティーを保って情報を開示していくというのはすごく難しい問題である。

(芝山委員) サルビアねっとは、鶴見区でも登録している医療機関がまだまだ少ない状況で、さらにセキュリティー対策なども不十分なままで広がっているのが危惧している。

(深澤委員) 昭和大北部病院でもサルビアねっりに似たようなシステムを構築しようとしているが、まだ進んではない。

(山本(俊)委員) 青葉区でもサルビアねっとは別のネットワークシステムがある。

(山本(智)委員) いろいろなネットワークシステムがあって市民が混乱するし、認知もあまりされていないため、もっと横浜市の方から働きかけてほしい。

#### 4 閉会

(事務局からの説明)

本日の内容は、後日、議事録としてお送りいたします。

また、次回の委員会については、後日改めてご連絡をさせていただきます。